



ROCK PAINT

018ライン

ダイナロック®Ⅲ

弱溶剤一液架橋型NADウレタン樹脂塗料

高耐候性で用途が幅広い
弱溶剤型でにおいもマイルド
防藻・防カビ剤入りで速乾性
鉛・クロムなどの重金属を配合せず、環境にやさしい

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

コンクリート

各種新屋根材

F R P

鉄・非鉄金属

木 部

硬質塩ビ



弱溶剤一液架橋型NADウレタン樹脂塗料

DYNA ROCK

ダイナロック®
Ⅲ

高耐候性 速乾性 防藻・防カビ性

018-0203 HET 15kg
ホワイト
WHITE

危険

注意

取扱説明書

安全データシート

販売店

128 1263

ダイナロック®Ⅲ

ダイナロックⅢは、ターペン可溶の特殊架橋型樹脂を使用した、速乾性でかつ室内環境にやさしい一液架橋型 NAD ウレタン樹脂塗料です。耐候性、可とう性、付着性にすぐれ、外壁、屋根、鉄部、木部などの幅広い用途に使用できます。また、塗装作業性を重視し、従来品に比べて速乾性で、リフティングが生じにくい設計になっています。

特 長

1. 環境配慮型

- ホルムアルデヒドの放散等級は F☆☆☆☆ ですから、建築基準法による室内の使用制限を受けずに使用できます。
- 原料に鉛・クロムなどの有害な物質を配合していません。

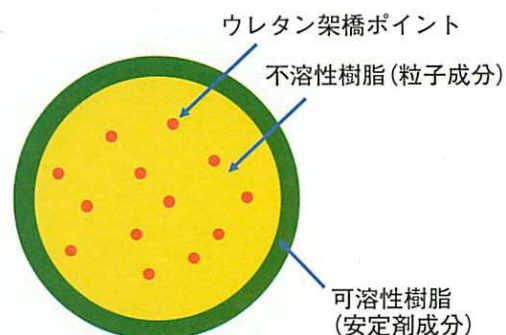
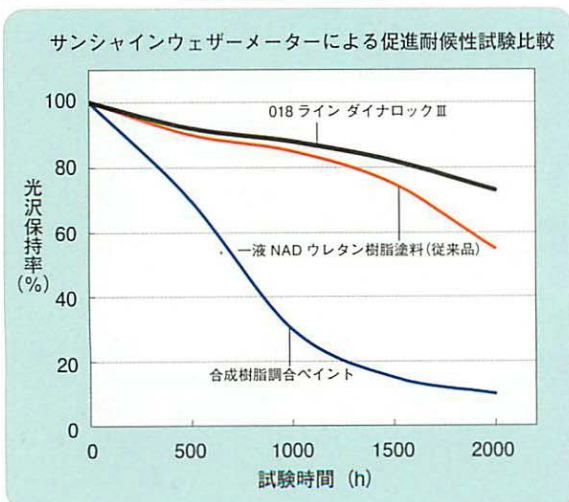
2. 高耐候性、防藻・防カビ性

- ウレタン樹脂が有する特長と特殊架橋により、すぐれた耐候性を発揮します。
- 防藻・防カビ剤入りですので、長期間建築物の表面を美しく保ちます。

3. 一液架橋型

- 二液型塗料と違い配合の手間や配合ミスもなく、可使時間の制限がないので塗料を無駄にすることがありません。
- 特殊架橋により、緻密で汚れにくいウレタン塗膜を形成します。

耐 候 性 比 較



ダイナロックⅢ特殊硬化成分配合 NAD

4. 速硬化性

従来の一液型ウレタン樹脂塗料では

- 完全硬化が遅い、または硬化しない。→再溶解
- 塗料条件や温度により、リフティング（ちぢみ）時間が長い。

など問題点がありました。

ダイナロックⅢは、従来品に比べ塗り重ねられるまでの時間が短く、リフティングが起こりにくい設計で、低温時でも安心して塗装できます。

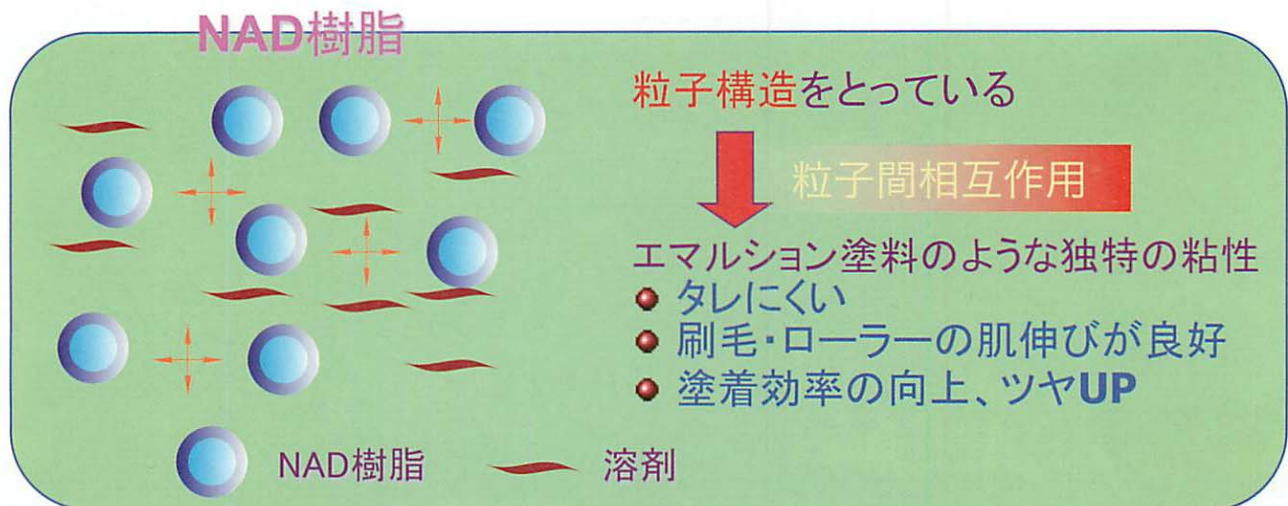
(20℃・膜厚 30 μmの場合、12 時間以上で可能。)

5. 弱溶剤・低臭型

塗料用シンナー（弱溶剤）で希釈するタイプですので、改修時など下地を侵すことがなくご使用いただけます。また合成樹脂調合ペイントのような油や樹脂特有の臭気はほとんどなく、においが非常にマイルドですので、作業環境にもやさしい塗料です。

6. 塗装作業性が良好

NAD 樹脂の特性を生かし、はけ・ローラーの塗装作業性が向上したことで、高塗着性になり、隠ぺい性が良くなりました。



用途（適応素地）

素地	コンクリート・モルタル	鉄 部	亜 鉛 メッキ	アルミ	屋 根 (注3)			木 部	硬 質 塩 ビ	軟 質 塩 ビ	FRP	アクリル板
					トタン	新屋根材	スレート瓦					
新設及び 塗替適性	○	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○ (注1)	○	○	○ (注2)	○	×	○ (注4)	×

注1…金属部に塗装する場合は、下塗にサビカット等適応のさび止めペイントやプライマーが必要です。

注2…木部の塗装については木の材質等によりハガレ、ワレを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。

注3…屋根瓦のうちで、洋瓦（モニエル瓦）、釉薬瓦等には使用できません。

アスファルトシングル材には、必ず下塗り塗料としてロック屋根・瓦用サーフェサーを塗装してください。

注4…FRP に塗装する際は、十分な脱脂とペーパーによる足付けを行ってください。

使用方法

●希釈剤：016-0059 塗料用シンナー

(他種のシンナーは塗料中の樹脂が破壊されますので使用しないでください。ただし、気温 10℃ 以下で指触乾燥が遅い場合は、016-0095 エナメルシンナー^(※)を使用することもできます。)

●希釈割合：ハケ、ローラー 5～15% エアレス 10～20% (重量比)

●乾燥時間：

気 温	10℃	20℃	30℃
指 触 乾 燥	60 分	30 分	10 分
塗り重ね可能時間	24 時間以上	12 時間以上	6 時間以上

(膜厚 30μm の場合)

(注) 乾燥時間は、気温、湿度、膜厚、色、素地の状態等により異なりますが、おおむね上記の表を参考にしてください。塗り重ね可能時間前に塗り重ねた場合には、リフティングを起こす場合がありますので注意してください。

(※) 016-0095 エナメルシンナーを使用した場合、塗り重ね可能時間は少し長くなります。

使用上の注意

- クリヤー分が浮いている場合がありますので、使用する前に塗料を底から十分にかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 上塗り塗料の調色には必ず 018 ライン ダイナロックⅢ原色、またはロックトーンカララント 3000 (ベースの 2% 以内) を使用してください。
- 下塗り塗料として溶剤型合成樹脂シーラーは使用しないでください。

性 能

塗料種類		ダイナロックⅢ	従来品	市販品	合成樹脂 調合ペイント
項目					
光沢 (60° グロス)		85	85	85	77
完全硬化	30℃	5 時間	12 時間	未硬化	14 時間
	20℃	12 時間	24 時間		20 時間
	10℃	24 時間	48 時間		36 時間
耐水性		○	○	○	△
耐候性		○	○△	○	△
耐屈曲性φ10mm (促進耐候後)		○	○	×	○

標準塗装仕様

(塗り替えの場合)

1 コンクリート、モルタルなど下地模様を生かした塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね 可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、フクレ部分等は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高压洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。						
下塗り	032-2106 ビニロック エラスティックフィラーⅢ他	水	ローラー : 2～5 砂骨ローラー : 0～2 エアレス : 5～10 タイルガン : 5～10	1	0.5～1.5	—	8時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5～15 エアレス : 10～20	2	0.11～0.13	—	12時間以上

(注 1) 下塗り塗料は 032-2106 の他にビニロックエラスティックフィラー (032-2105) もあります。

(注 2) 塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

(注 3) 上記仕様に記載されている各種下塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

2 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね 可能時間 (20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、フクレ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜サビなどは、電動工具、手工具で除去する。「2種ケレン」 チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061-1500番級 サビカット	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	25	12時間以上

(新設の場合)

3 コンクリート、モルタルなどの平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね 可能時間 (20℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)						
下塗り	033-1159 ロック カチオンシーラーマルチ	(水) 通常不要	ハケ、ローラー エアレス	1	0.11～0.13	—	3時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	—	12時間以上

4 鉄部、非鉄金属部の平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね 可能時間 (20℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整「2種ケレン」、又は SIS St3 程度。じんあい、水分、油分は完全に取り除く。						
下塗り	061-1500番級 サビカット	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	30	4時間以上 7日以内
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	25	12時間以上

5 木部の平滑仕上げ

工 程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率 (%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね 可能時間 (20℃)
素地調整	オービタルサンダーで P180 ～ P240 ペーパーを用い、汚れ、付着物、ケバだちを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るか又は焼きゴテで処理し、揮発油で拭き取る。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要などときは、ロックポリパテで穴埋めを行う。						
下塗り	018-1531 ダイナロックⅢ 下塗り白	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	1	0.11～0.13	—	12時間以上
上塗り	018ライン ダイナロックⅢ	016-0059 塗料用シンナー	ハケ、ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	—	12時間以上

(注4) サビカットは 061-1530 赤サビ色、061-1531 グレー、061-1532 ホワイトがあります。

(注5) 木部の塗装については木の性質などによりハガレ、ワレを生ずることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

(注6) 塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

(注7) 上記仕様に記載されている各種下塗塗料の詳細な使用方法、注意事項は、専用カタログもしくは製品説明書をご覧ください。

外装仕上用提案色



※色番号はロックペイントが世界の建築物に使用されている色の中から、実用性の高い1021色を選定したカラーワールド®1000色見本帳の番号です。上記24色は、日本の建物によく使われている色です。(色見本は印刷ですから実際の色とは多少異なります。)

品種・色・容量

品 番	品 名	原色 100	原色 : 白 10 : 90	入 目	品 番	品 名	原色 100	原色 : 白 10 : 90	入 目
018-0203	ホワイト	(白)	—	15kg	018-0225	オキサイドレッド			15kg, 3kg
018-0021	ムエンエロー			3kg	018-0075	シアニンググリーン			3kg
018-0023	ムエンキュートエロー			3kg	018-0080	ロイヤルブルー			3kg
018-0025	ムエンメジウムエロー			3kg	018-0234	ブラック			15kg, 3kg
018-0029	ムエンオレンジ			3kg	018-0036	バイオレット			3kg
018-0233	オーカー			15kg, 3kg	018-0255	破風チョコ※		—	15kg
018-0210	レッド			3kg	018-0095	フラットベース	—	—	3kg
018-0040	シンクレッド			3kg	018-1531	下塗り白	(白)	—	15kg

(注) 色見本は印刷ですから実際の色とは多少異なります。

※ 018-0255 破風チョコの色彩は、日塗工 255 色です。

関連塗料

品 番	品 名	入 目	品 番	品 名	入 目
032-2106	ビニロックエラストックフィラーⅢ	16kg	061-1530	サビカット 赤サビ色	16kg, 4kg
032-2105	ビニロックエラストックフィラー	18kg	061-1531	サビカット グレー	16kg, 4kg
033-1159	ロックカチオンシーラーマルチ	15kg	061-1532	サビカット ホワイト	16kg, 4kg

施工上の注意

- 塗面のゴミ、カビ、こけ、油分、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
(含水率 10% 以下、pH9.5 以下)
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温及び躯体の温度が 5℃ 以下の場合や、湿度 85% 以上での塗装は避けてください。
(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くて乾燥時間が通常よりかかることがあります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 希釈には必ず 016-0059 塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗装中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈すると、光沢、隠ぺい性が低下したり、たれや色分かれの原因になります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。(例えば、一度に所定量以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生する場合があります。また、塗付量が少ない場合や、希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となる事があります。)
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗装用品の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 鉄部の塗装には合成樹脂系サビ止メペイント、または変性エポキシ系の「サビカット (1 液型)」を、亜鉛メッキ鋼板の塗装には適応のサビ止めをご使用ください。ただし 2 液型エポキシ系下塗り材は使用できません。
- 下塗りに溶剤型合成樹脂シーラーは使用しないでください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や、下地処理方法によって、付着不良やリフティング等の塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りすることをおすすめします。
- 高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは施工前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により密着不良を起こしたり、表面が汚れてくる事があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れます。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- カウンターやテーブル、椅子、棚、床等への塗装は避けてください。
- 木部の塗装については木の材質等によりハガレ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し、確認してください。
- 内部の塗り替えて、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 木部塗装で釘頭には、サビカットを塗装してください。釘頭が錆びている場合は、ペーパーを用いてさびを除去(二種ケレン)してからサビカットを塗装してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラーを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにムラが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 吹付け塗装の場合は、飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りムラの原因になります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し、確認してください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、ロックカチオンシーラーマルチか、クリヤーシーラーエポ、エマルジョンホワイトシーラーを使用してあらかじめ下塗りをしておいてください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように、換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくると発熱し、自然発火の恐れがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- その他、カタログに記載されていない素地(サイディングボード、軽量モルタル仕上げ面等)及び塗装方法、工程で施工する場合塗膜不良を起こす事がありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- このカタログに記載されている下塗塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。
- 取扱上及び安全衛生上の注意についての詳細は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- ◆ 引火性の危険物ですから、取り扱いの際には製品容器の注意書および製品安全データシート(MSDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
- 目、皮膚、粘膜等に対し刺激性がある。

〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着等を着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをし、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は産業廃棄物として認可業者に処理を委託してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 製品安全データシート（MSDS）をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
西関東営業所／〒229-1131／神奈川県相模原市西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
明石営業所／〒674-0094／明石市二見町西二見駅前3丁目1番地 ☎(078)949-3101 FAX (078)949-3102
岡山営業所／〒701-1134／岡山市三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

販売店：